

峰上地区における新たな移動手段導入に向けた検討状況について

峰上地区（天羽地域）では地区区長会が中心となり、地域住民を主体とした移動手段確保に向けた検討を進めています。

1 これまでの経緯

今年度は7回にわたり勉強会を行い、当該地域における公共交通の現状と、地域に合った移動手段の検討について理解を深めました。

○経緯（概要）

令和3年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回勉強会「峰上地域における公共交通の現状と市の支援内容について」（区長会向け）
令和3年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回勉強会「ボランティア運送の導入事例及びNPO法人の設立方法について」（区長会向け）
令和3年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回勉強会「峰上地区で想定される移動手段導入イメージ（案）について」（区長会向け） ・峰上地区区長会から市へ要望書の提出
令和3年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回勉強会「これまでの勉強会の振り返りと今後の進め方について①」（新たに、地区社会福祉協議会理事が勉強会に参加） ・アンケート調査開始（R3.12.15～R4.1.28）
令和4年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回勉強会「これまでの勉強会の振り返りと今後の進め方について②」（検討経緯等の説明を受けていない地区民生委員、ふれあい推進員向けに開催） ・区長会、民生委員、ふれあい推進員から選出された13名が中心となり「峰上地区公共交通推進会議」が発足
令和4年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回勉強会「アンケート調査結果の報告と具体的な運行内容の検討について」⇒ワークショップ形式で実施 ・第7回勉強会「ワークショップ結果を基にした運行内容の案について」

2 峰上地区アンケート調査結果について

新たな移動手段の導入を検討するにあたり、地区住民の公共交通利用実態や移動ニーズの把握を目的としたアンケート調査を実施しました。

(アンケート調査結果は別紙のとおり)

○調査対象者：(①ひとり暮らし高齢者、②同居家族はいるものの、日中は移動手段がない高齢者や障がい者の方等)

○調査期間：令和3年12月15日(水)～令和4年1月28日(金)

○回収数：124件(①51件、②73件)

○調査協力：峰上地区区長会、峰上地区社会福祉協議会

3 現時点で峰上地区が想定する移動手段の内容について

上記アンケート調査結果の内容を踏まえ、峰上地区にどのような移動手段を導入したら良いかワークショップ形式で議論したところ、その概要は以下のとおりです。

- ・地区住民が運送を担う自家用有償旅客運送(交通空白地)
- ・峰上地区住民を対象とし、デマンド型(ドア・トゥ・ドア)の運行
- ・既存公共交通機関を補完し、共存できる運行

4 今後の流れ

今後は、地区住民と運行計画(素案)をまとめ、その内容について公共交通事業者と協議を行い、運行内容の調整を図りたいと考えています。

○実証運行までの流れ

- ①運行計画(素案)作成、公共交通事業者と運行内容の調整
- ②市地域公共交通会議に諮り実施の可否決定
- ③運行体制の整備(必要な人員、車両等の確保)
- ④市地域公共交通会議で実証運行の実施決定
- ⑤千葉運輸支局へ自家用有償旅客運送の登録決定
- ⑥周知広報活動・住民説明会
- ⑦実証運行開始 ※期間は1年程度を想定

峰上地区アンケート調査結果（概要）

峰上地区における新たな移動手段の導入を検討するにあたり、地区住民の公共交通利用実態や移動ニーズの把握を目的としたアンケート調査を実施しましたので、その結果を報告します。

○調査対象者：（①ひとり暮らし高齢者、②同居家族はいるものの、日中は移動手段がない高齢者や障がい者の方等）

○調査期間：令和3年12月15日（水）～令和4年1月28日（金）

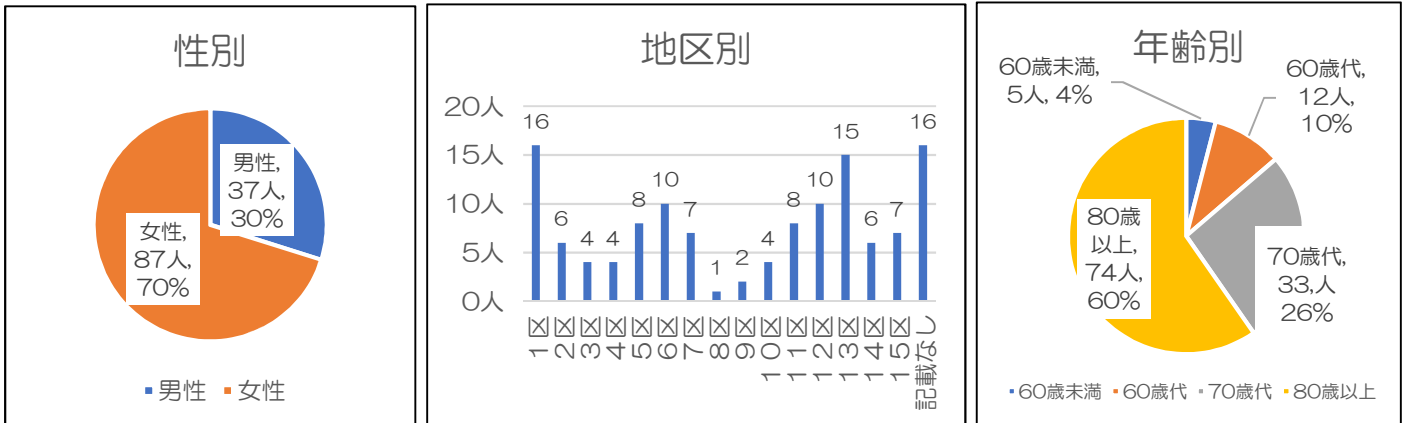
○回収数：124件（①51件、②73件）

○調査協力：峰上地区区長会、峰上地区社会福祉協議会

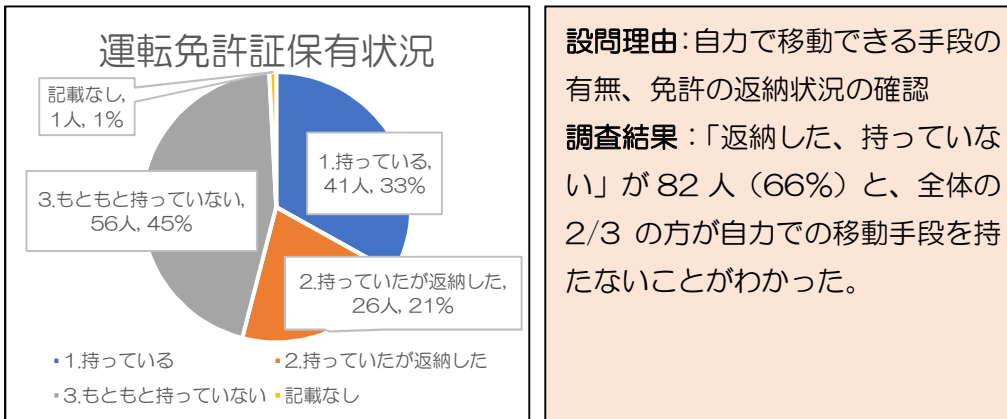
（1）各設問の解説と調査結果

問1.あなたご自身についてお聞きします。

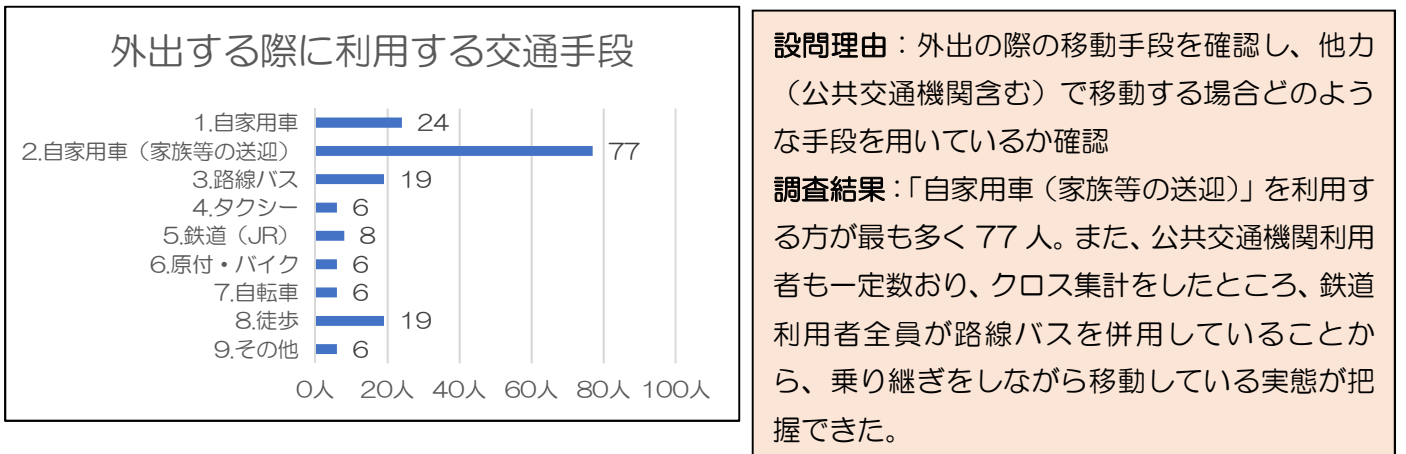
調査の基本項目として、性別・地区・年齢の3項目を設問とした。



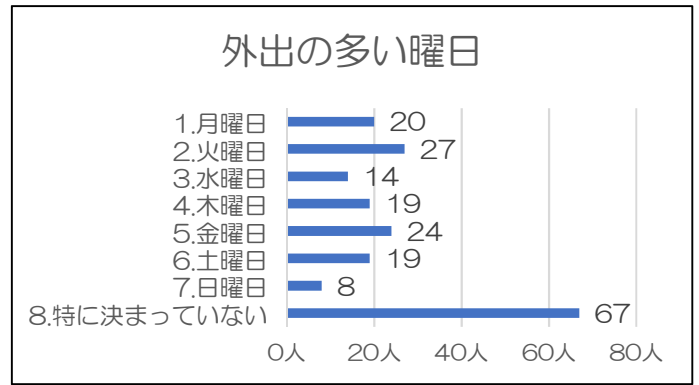
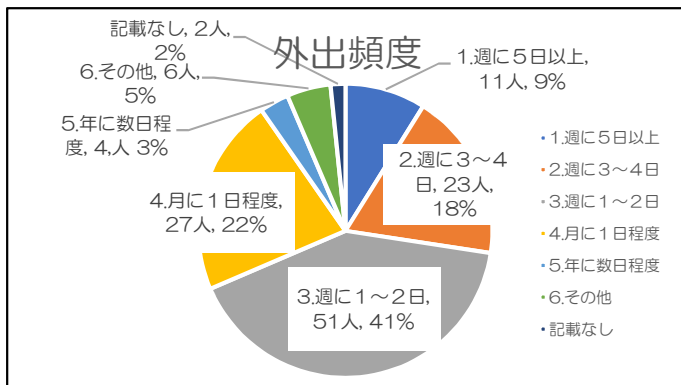
問2.運転免許証の保有状況について教えてください。



問3.外出する際に利用する交通手段を教えてください。（※複数回答）



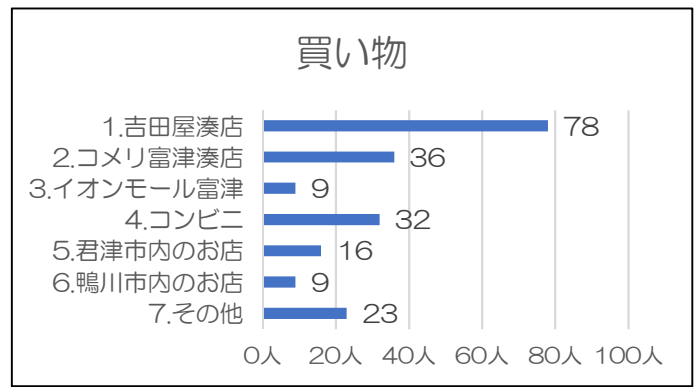
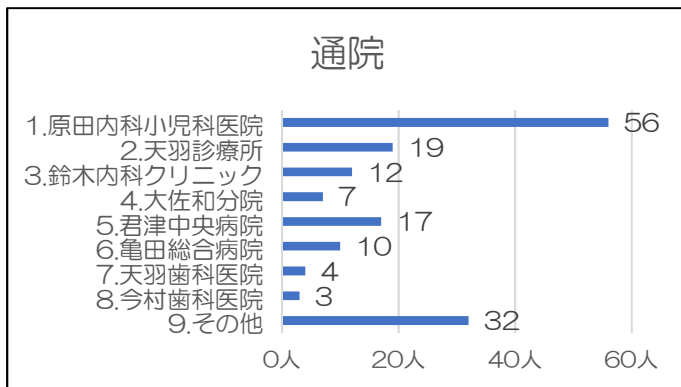
問4.外出する頻度及び曜日を教えてください。(※外出の多い曜日は複数回答)



設問理由：外出の状況を確認し、移動手段を導入した際の運行日、便数の参考とするため。

調査結果：外出頻度は「週に1~2日」が最も多く51人、外出の多い曜日は「特に決まっていない」が67人で最も多く、曜日別では火曜日、金曜日がやや多い。水曜日・日曜日に外出が少ないのは、医療機関の休診日であることも一因と考えられる。

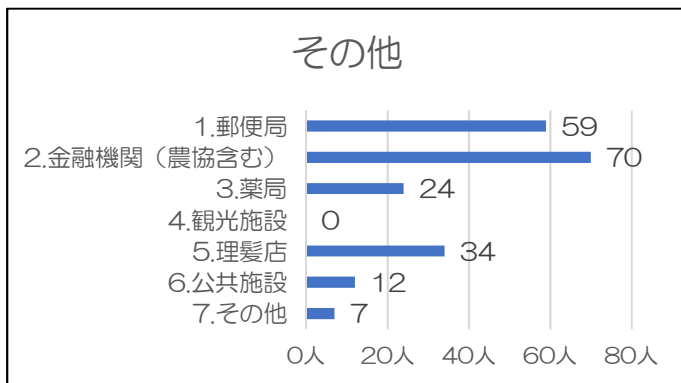
問5.外出する際によく行く施設を目的別に教えてください。(※複数回答)



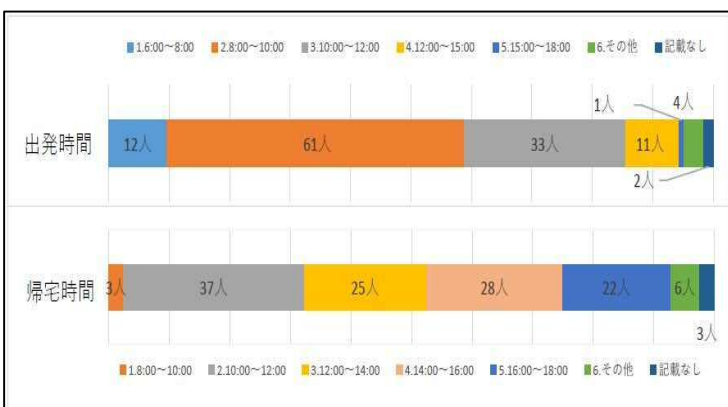
設問理由：移動手段を導入する際の運行エリアの検討材料とするため。

調査結果：通院は「原田内科」が最も多く56人、買い物は「吉田屋」が78人、その他は「金融機関」、「郵便局」へ行く人が多い。

※各設問のその他には市外の施設が多く記載されており、移動の範囲は広範囲にわたる。



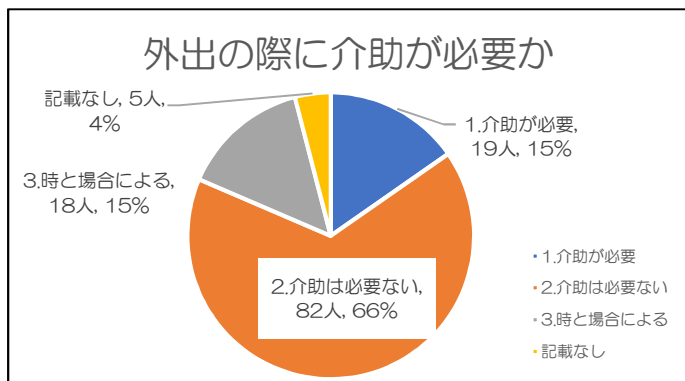
問6.外出する際は何時頃出発し、何時頃帰宅されますか。一番多い外出時間帯を出発時間、帰宅時間それぞれ教えてください。



設問理由：移動手段を導入する際の運行時間の検討材料とするため。

調査結果：出発時間は「8:00~10:00」が61人(49%)と全体の半数を占めた。帰宅時間は「10:00~12:00」が最も多く、次いで14:00~16:00であった。午前中に外出し、夕方前には帰宅される方が多いことがわかる。

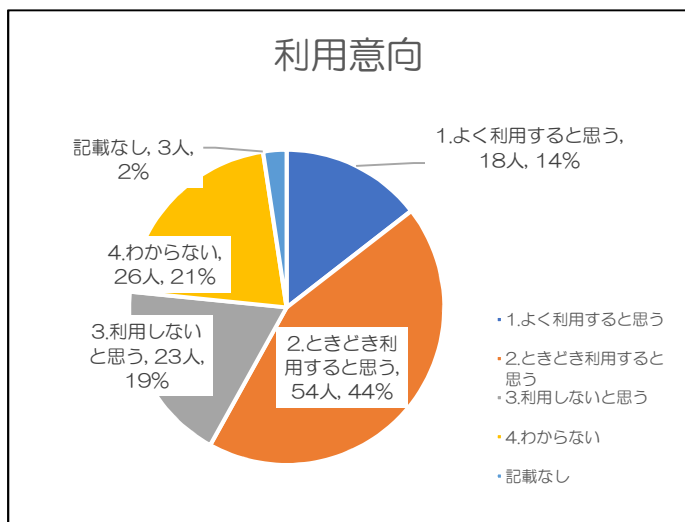
問 7.外出の際に介助が必要か教えてください。また、介助が必要な場合に補助をしてくれる方はどなたか教えてください。



設問理由：移動手段の導入には福祉的観点も多分に含まれるため、介助が必要な方の人数を確認。

調査結果：「介助は必要ない」と回答した方が82人（66%）と全体の2/3を占めた。「介助が必要」と回答した方は、主に家族等の方が補助し移動されていることがわかった。

問8.あなたは地区内に新しい移動手段が導入された場合、利用すると思いますか。また、その理由も教えてください。

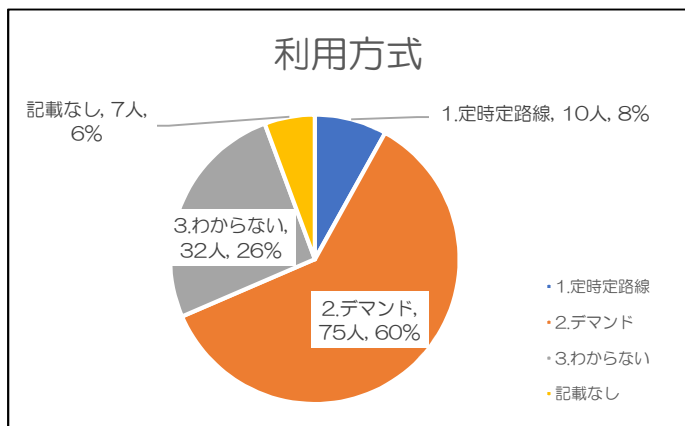


設問理由：移動手段が導入された場合の、住民の利用意向を確認するため。

調査結果：「よく利用すると思う」「ときどき利用すると思う」と回答した方が合わせて72人（58%）と過半数を占めた。理由としては、運転できなくなったら移動手段がないから、家族の都合がつかないときに利用したい等の回答があった。

「利用しないと思う」と回答された方の多くは、ひとりで出かけることができない、家族がいるから大丈夫という回答だった。

問9.どのような利用方式がいいと思いますか。また、その理由も教えてください。



設問理由：移動手段を導入する際の運行方式の検討材料とするため。

調査結果：利用方式はいわゆる「デマンド型」を支持する回答が75人（61%）と過半数を占めた。理由としては、幹線道路まで歩くことができないから自宅まで来てくれると助かるという声が多かった。また、「定時定路線型」を支持する声としては、予約するのが苦手だからという回答が多かった。

まとめ

結果としては概ね想定していた通りの回答結果であった。方面別（関豊、山中、田倉）に集計をかけたところ、多少の差異（山中方面は鴨川市内の移動が増える等）はあるが、大枠は外れていない。

市内の移動が大多数を占めるものの、市外の医療・商業施設を利用している実態も把握することができた。

この調査結果を活用し、峰上地区に合った移動手段の導入について具体的に検討を進めたい。